

# ～豊予交流～

愛媛県側9つの自治体と大分県側9つの自治体で新たな経済圏の循環などを目的に相互交流を図っており、その一環として、お互いの広報誌の相互掲載を行っています。

今回は「由布市」です。海の向こうに目を向けてみましょう。



## ◆津久見市の紹介◆

『セメントとみかんと野球のまち』として知られる大分県津久見市は、県の南東部に位置しており、豊後水道に面した海沿いのまちです。また、津久見湾の湾口部を囲うようにリアス海岸が半島部に伸び、南の四浦半島の延長に保戸島、北の長目半島の延長に地無垢島、沖無垢島の3つの島が浮かんでいます。



- <基礎データ>
- 人口：17,969人  
(平成27年国勢調査)
  - 総面積：79.50km<sup>2</sup>



## ◆保戸島の紹介◆



津久見市  
公認キャラクター  
つくみん

津久見港から約14km沖合、周囲約4km、人口約600人の島。明治中頃に始まったマグロ漁業の基地として有名なほか、斜面に3～4階建ての住宅がひしめく景観は地中海を連想させ「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」にも選ばれています。

## ◆郷土芸能の紹介◆

今から約450年の昔、津久見市は大友氏の支配下にありました。当時は戦国時代で、戦没した勇士や農民の供養のために、京舞いの流れをくむ「扇子踊り」ができたといわれています。

扇子の流れも美しい舞姿は実に優雅で、哀歓を秘めており、津久見を代表する郷土芸能として踊り継がれています。

毎年8月下旬に、「津久見扇子踊り大会」が開催されています。



特産品などに関する情報はこちら



津久見市観光協会HP



「県道612号線」



「マグロのかぶと焼き」



お問い合わせ

津久見市観光協会

☎0972-82-9521

津久見市 商工観光・定住推進課

☎0972-82-9542